

ドイツ 科学・イノベーション フォーラム東京 (DWIH 東京)、
ベルリン日独センター (JDZB)

バーチャルシンポジウム

「危機への対応—新型コロナウイルスパンデミックがもたらす心理社会的
影響」

2021年6月10日(木)

18:00~20:00(日本時間) / 11:00~13:00(ドイツ時間)

使用言語: ドイツ語/日本語(同時通訳付き)

10:30~11:00(ドイツ時間) / Zoom 受付

17:30~18:00(日本時間)

11:00~11:10 ご挨拶 **18:00~18:10**

ドロテア・マーンケ (DWIH 東京 ディレクター)

ユリア・ミュンヒ (JDZB 事務総長)

11:10~11:30 現場からの考察 **18:10~18:30**

司会: ウルフ・キルゼ (ビーレフェルト大学 脅威管理プロジェクトリーダー)

大空 幸星 (NPO「あなたのいばしょ」創設者)

イェンス・グレーベナー (ベルリン危機対応サービス (Berliner Krisendienst) 西部地域統括)

11:30~13:00 パネルディスカッション: パンデミックの影響・進展・解決へのアプローチ **18:30~20:00**

司会: ノラ・コットマン (ドイツ日本研究所 研究員)

クラウス・ベルガー (NAKO 専門家グループ「神経・精神疾患」報道官 / ミュンスター大学疫学・社会医学研究所 所長)

上田 路子 (早稲田大学 政治経済学術院 准教授)

クラウス・リープ (ライプニッツ レジリエンス研究所 科学ディレクター / マインツ大学 病院 精神科・心理療法科 科長)

内田 由紀子 (京都大学 こころの未来研究センター、京都大学大学院人間・環境学研究科、社会心理学・文化心理学 教授)

質疑応答

13:00

閉会

20:00